



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

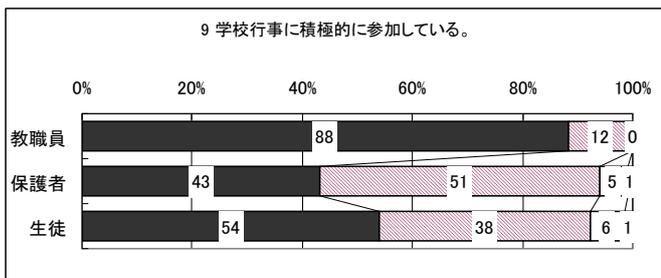
【平成30年2月号④】

寒さ厳しき折、インフルエンザにご注意を!

《重点目標》『品格を備え、課題を持って今の自分を高めよう』

学校評価の結果より (3) ～体育面から～

9 学校行事に積極的に参加している。

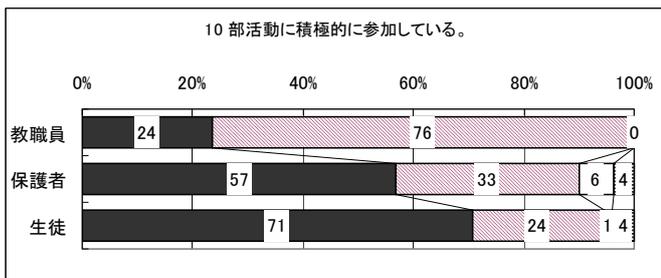


向けて学級や各種係り等、一丸となって取り組んでいることを示しているのとらえる。生徒の高評価も達成感や達成感が得られ、有意義な活動であったことの表れである。今後も行事を通して生徒の成長が図られるようにしていきたい。

9 学校行事に積極的に参加している。

自分たちでよりよいものを目指し、見通しを持ってその目標に向けて努力していく姿勢を育てることは、今年度の重点目標「品格を備え、課題を持って自分を高めていこう」や、今年度のスローガン「目標に向かって、今この瞬間を努力しよう」の達成に結びつくものである。そうした要素が多い場が学校行事である。学校行事では活発に体を動かしたり、他の友人ともかわりながら根気が求められる場面も多い。教職員、保護者とも他の項目と比較して一番高い評価結果であることは、学校行事に多くの情熱をかけ、目標達成に

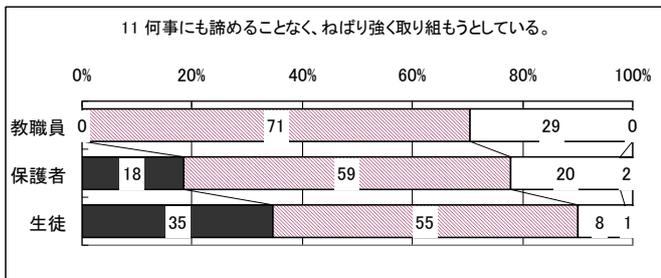
10 部活動に積極的に参加している。



10 部活動に積極的に参加している。

この分野「健康で忍耐強い生徒」の具現に大きく関与している項目である。運動部・文化部それぞれにおいて県大会に出場できた部が複数あり、体力や技能が確実に向上した成果と見ることができる。また、体育の授業では、体づくり運動が計画的に実施されており、その成果もあって、一昨年度高かった新体力テストの結果を引き続き維持・向上した。市のトップスリート事業や部活動支援事業もその支えとなったと考えられる。約7割の生徒がA評価であることから、実感を伴った評価の表れと受け止めることができる。

11 何事にも諦めることなく、ねばり強く取り組もうとしている。

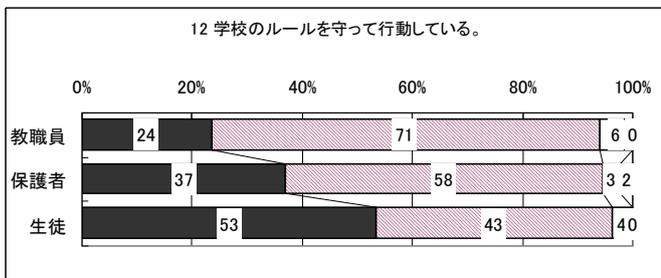


11 何事にも諦めることなく、ねばり強く取り組もうとしている。

教職員の結果はA評価の回答は一人もなく、全職員が課題と受け止めている表れである。評価項目の「9」同様、今年度の重点目標やスローガンとの関連が深い項目である。部活動ではある程度の成果が上がっているものの、学力向上では全国学力テストや福島県学力テストにおいて依然として課題が見られることが、教職員の評価が全体的に低くなっていることにつながっていると思われる。今の鹿島中生徒に大きく求められている課題と受け止め、特に学力

向上の中でも家庭学習への取り組みとともに、課題の克服が急務であるのとらえる。

12 学校のルールを守って行動している。



12 学校のルールを守って行動している。

今年度も交通・防犯教室、スマホ教室を開催し、警察署や携帯電話会社など、関係機関の協力を得ながら、生徒たちの規範意識の向上に努めてきた。また、学校生活においても指導の機会をとらえ適宜、ルールを遵守する大切さについて指導してきた。教職員はそれぞれの問題にかかわっているために評価が厳しいと思われる。生徒のA評価については、大多数の生徒がルールを守った生活ができていることの反映であり、今後も一層高い評価となるよう、継続して指導に当たりたい。

<今後の改善策>

学校行事は生徒の教育効果が高い評価結果から、次年度に計画的な位置づけをし、「目標に向かって努力することの大切さや自分を高めていくことの大切さ」について実感させ、主体性を発揮して「ねばり強く取り組めるよう」に指導していく。体育における体力向上に向けた取り組みとともに、部活動における指導を継続して、健康でたくましく、忍耐強く取り組む生徒の育成を目指していく。また、市の支援事業を継続して活用していく。すぐに諦めることなく、課題の克服や目標の達成に向けてねばり強く取り組む姿勢を育成するには、授業や部活動、そして家庭学習に地道にこつこつと取り組む姿勢を身につけることが必要である。そのための具体策を策定し、指導・支援していく。

関係機関から講師を招いての講演会を計画的に位置づけるとともに、学級、学年において、常日頃の機会をとらえた指導を継続し、ルールを順守する態度を育成する。